

夏野菜のタネとり

自家採種したタネの発芽率、
ほぼ100%!
そのミツを探りに、
屋上菜園に情熱を燃やす
のらぼうず、小林宙くんが突撃!



小林 宙くん
(13歳)

野菜も子孫を残したい

毎年タネとりにしていると、秋からの野菜づくりのために夏野菜を撒収するとき、まだ実がついていても、「また来年!」といさぎよく引っこ抜けます。野菜が生きる目的は、タネを残すことだと思っからです。

タネとりの基本は、実が完熟するまでならせておくこと。ちよつとしたコツを実践すれば、翌年のタネまきで、発芽率はほぼ100%を達成することが可能です。

ひとつだけ、親と同じ形質(味、耐病性など)の子孫を残すには、一代交配種(F₁種)ではなく固定種でなければならぬことを覚えておきましょう。

タネとりをくり返すと、じぶんの家の環境に順応したオリジナル野菜に進化していきます。

採種したタネは交換会などで広げてあげると、のら仲間だけでなく、野菜も喜ぶと思います。

タネとりの注意点

自家受粉と他家受粉

自家受粉とは、自家受粉する野菜が実をつけるには、受粉が必要。その際、同じ株のめしべとおしべの花粉で受粉することを自家受粉、ある株のめしべと別の株のおしべで受粉することを他家受粉という。

他家受粉する野菜のタネとりにするときは、近くに別の品種の株がないよう注意する。違う品種同士が交雑してしまうと、親と別の性質を持つタネができる可能性がある。

おもに自家受粉する作物

トマト、ナス、ピーマン、オクラ、シソ、バジル、イネ、ダイズ

自家受粉も他家受粉もする作物

ゴボウ、ニンジン、ネギ、タマネギ、ソラマメ

おもに他家受粉する作物

ダイコン、カブ、キャベツ、ブロッコリー、コマツナ、キュウリ、スイカ、カボチャ、メロン、ソバ

※アブラナ科アブラナ属(オレンジ色の下線)同士は、別の種類でもかたんに交雑してしまう! ダイコンはアブラナ科だがダイコン属なので、他のアブラナ科野菜と同じ場所でタネとりしても大丈夫。

タネの寿命

他家受粉する野菜は、ペランダなどスペースが限られた場所で2品種以上のタネとりにするのは難しい。ただ、タネには寿命があり、2年以上保存しておいても発芽する野菜も多いので、今年はこの品種、と決めてタネをとりにしよう。

【タネの寿命】

- 5年程度…ナス、トマト、スイカ
- 3~4年…ダイコン、カブ、ツケナ、ハクサイ、キュウリ、カボチャ
- 2年程度…キャベツ、レタス、トウガラシ、エンドウマメ、インゲンマメ、ソラマメ、ゴボウ、ホウレンソウ
- 1年…ネギ、タマネギ、ニンジン、ミツバ、ラッカセイ

タネの保存方法

タネを保存するときに大敵なのは、湿気! タネとりしたら、以下の手順で保存しよう。

- 1 タネとりの際にしっかり乾燥させる
- 2 乾燥剤などと一緒にジッパーつきの袋に入れる
- 3 袋をまとめて缶やタッパーに入れ、冷蔵庫で保管する

小袋の中に防湿紙という特殊な紙を入れている。仕事柄(紙関係)入手したが、ふつうは難しいかも

コーヒーの缶も、保存に最適!



カビでダメにしちゃったことあり



乾燥剤か